

社協 あさひかわ

はじまりは あなたの笑顔から

[2・3ページ]

末広・東鷹栖地区で ふるさとについて考えました!!



地域とつながりの輪を広げる旭川龍谷高等学校「インターアクトクラブ」の皆さん

この広報紙は、地区社会福祉協議会・市民委員会を通じて各町内会役員等、皆様のご協力により各世帯へ配布されています。

配布にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。



認知症について学んでみませんか？

まちなかで困っている人がいたら声をかけてみる。認知症の人とその家族を、さりげなくサポートする「認知症サポーター」を養成するための出前講座を開催しています。今、町内会や企業の研修、学校の総合学習などで行われ、市内では13,954人の認知症サポーターが誕生しています。

認知症になっても、安心して暮らせるまちを、地域の人々でつくっていくために。あなたの身近な所で講座を開催してみませんか？

【お問合せ】旭川市社会福祉協議会神楽事務所 旭川市神楽3条4丁目 ☎60-1710

オレンジリングは
認知症サポーターの目印です!



市民の皆さんからの声



■成年後見支援センターのサポート内容や総合相談・生活支援システム等、わかりやすく書かれていて、私も精神障がいがあるのですが、困った時はここに相談しようと思いました。(忠和地区 37歳・女性)

■社協の活動をあまり知る機会もなく過ごしてきました。今年、町内会の班長に当たり、「社協あさひかわ」を真剣に読むことが増えてきて、今まで知らなかったことや、活動内容等を少しずつ知る事ができています。読まずに捨ててしまう人も大勢いると思いますが、地道な活動で、一人でも多くの方が活動を理解し、助け合い、ひだまりのような街になればいいと思います。(永山南地区 47歳・女性)

■若い人が地域と繋がって頑張っている姿の紹介は、皆さんに元気をくれることと思います。(春光台地区 61歳・女性)

編集委員より

今年度は、各種相談窓口に関する声を多くいただきました。その背景には誰にでも訪れる老いや将来に対する不安から注目を集めたのではと思います。

また、「おがれ地域の宝もの」ページでは、若者世代の地域活動に携わる姿を紹介してきましたが、旭川市ではまだまだ沢山の学生や児童が地域の為に貢献・躍動している姿があると思いますので、情報提供等のご協力をよろしくお願いいたします。

今後も市民の皆様からの声を踏まえて、社協の各相談窓口や機能をわかりやすく掲載していきたいと思っています。

社協クイズ

共同募金図書カードをプレゼント!!

【応募方法】はがき・FAX・Eメールにてクイズの答えと「社協あさひかわ」に関するご意見や感想、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、ご応募ください。正解者の中から10名様に1,000円分の図書カードをプレゼントいたします。なお当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。【応募締切】平成27年6月30日(火)まで【応募先】下記、旭川市社会福祉協議会まで
※皆様からの個人情報は、プレゼントの抽選以外に使用いたしません。この場合においても当該個人情報は当協議会内により管理され、それ以外には開示されません。

問題

末広・東鷹栖地区で開催した茶話会で
行われたことは？

ふる○○の物語づくり

○に当てはまる文字は何でしょう？

〈ヒント〉2・3ページを見てね!

社協クイズの答

たくさんのご応募
ありがとうございました!

No.167の問題

地域において、市民の特性を活かした後見活動を行う権利擁護の担い手を何と呼ぶでしょう？

答え 市・民後見人

No.168の問題

皆様の善意が集められた
共同募金とは？

答え 赤い羽根
共同募金

ご意見・ご質問を募集しています!「旭川市社会福祉協議会」まで

社協に関して、わからないこと、聞いてみたいこと等
ございましたらお気軽にお問合せください。

旭川市社会福祉協議会

〒070-0035 旭川市5条通4丁目旭川市ときわ市民ホール1F

☎23-0742/FAX 23-0746

Eメール chiiki@north.hokkai.net

旭川市社会福祉協議会

神楽事務所

神楽3条4丁目1-18
☎60-1710/FAX 60-1780

地域福祉活動拠点

すすかけ

神楽岡10条5丁目1-28
☎60-6222/FAX 60-6223



この広報紙「社協あさひかわ」は、赤い羽根共同募金の
助成を受けて発行しています。
共同募金運動期間/10月1日~12月末日

末広・東鷹栖地区

つむぐ想い語る未来 「ふるさとの物語づくり茶話会」

「ふるさとの物語づくり茶話会（以下、茶話会）」は、家族や隣近所が力を合わせ助け合
って暮らしてきた過去から今までを振り返り、家族や地域、生活が変化していく中で失
われてしまったもの、それはなぜ失われてしまったのかを見つめることで、住民にとっての
ふるさとの過去と今を共有しあい、これからの地域に必要なこと、大切なこと、目指す姿
などを考え、現在、過去、そして未来の「ふるさとの物語づくり」に取り組んでいます。
「ふるさとの物語づくり」を通じ、これからも「ふるさと」と呼べるような地域づくりを
地域住民で共有し、住民自身の参加で創りあげていくことを目的としています。

茶話会とは？

旭川市社会福祉協議会は、末広・東鷹
栖地域包括支援センターと協働して、住
民のみなさん、社会福祉法人、関係団体の
みなさんが集まって、ふるさとの「今まで」
と「これから」について話し合う茶話会を
開催しています。末広と東鷹栖の2地区を
対象に開催し、これまでに延べ10回、計
274人の方が参加をしています。

この茶話会のきっかけは、地域のボラン
ティア活動者との意見交換会の中で、「昔
は自分達の住んでいる地域をふるさとと

感じられる暖かさがあった。」という言葉
からはじまりました。

私たちがいま暮らしているふるさとは
どのように変わってきたのか？そして、今
後のふるさとについて、参加者全員で「ふ
るさとの物語」を創ることに取り組んで
います。

茶話会から見えてきたこと

参加者からは「昔は町内会やご近所の
つながりが強く、行事やお祭りも盛んだ
った。」「葬儀も町内会で助け合って送り

出した。」「家庭に子どもが少なくと
も4〜5人いて、助け合って子どもた
ちを見ていた。」「等のエピソードが挙
げられました。

様々なことが地域から失われつつ
ある中で、その背景には、今は、意識
をしなければ、地域の中で助け合う
場面が減っていること、子どもが減
少し、行事も小規模になっているこ
と、高齢化が進行し空き家が増えて
きていることなども報告されていま
す。

そして、茶話会では「これからどの
ようなふるさとを創りたいか」につい
ても意見交換をしています。

今後に向けた話し合いでは、世代や
団体を超えて交流する場が欲しいこ
とや、みんなが集まるための仕掛け
が必要なこと、若者・女性の力を活か
すアイデアなど沢山の意見が出さ
れています。

物語を実現するために

末広と東鷹栖では、このような茶話会
の意見交換をまとめた内容を「ふるさと
の物語」として、一冊の本にまとめました。

そして、これからは物語を実現するた
めの活動に転換していきます。そのためには
より多くの方の参加が求められているこ
と、そして、社会福祉法人や関係団体な
ど、地域にある多くの資源の長所を活か
しながら、ふるさとづくりを進めていくこ
とが求められています。みんなで創りあげ
た「ふるさとの物語」を実現するために：
これからも「ふるさとの物語づくり」は続
いていきます。



茶話会風景

〈一冊の本にまとめたふるさとの物語〉



東鷹栖「最後まで住み続けられるふるさとづくり」



末広「まだ間に合う！全員参加のふるさとづくり」



旭川大学保健福祉学部
コミュニティ福祉学科
助教 大島康雄 氏

末広・東鷹栖の茶話会を通じて、今まで
個人が感じていた不安や、地域への想いを
共有し、地域の課題として整理すること
ができました。また、茶話会の中で、住民
や関係団体が新しい繋がりを持ったこと
はとても大切なことだと思います。
これだけの住民が夜に集まり、自分た
ちの暮らす地域について真剣に議論でき
たのは、皆様も今の地域に課題を感じてい
るからではないでしょうか。
地域課題は状況や時間と共に変化しや
すいものですが、今後の茶話会では「今」の
地域で起きている問題を住民のみでなく、
関係機関や行政とも共有していきたいで
す。今以上に、多世代の住民が参加しやす
い会にしていければと思っています。
そして何よりも、ここまで沢山のの方の参
加や協力をいただいて、茶話会を開催でき
たことに、深く感謝とお礼を申し上げます。

茶話会にアドバイザーとして 関わり続けた大島先生から



東鷹栖地区のみなさん



末広地区のみなさん

夢のある体育授業を届けます。 皆様に励まされて創立32周年

幼児体育・児童体育

～今 体育が面白い～

マット・跳箱・鉄棒・ボール・なわとび・ドッジボール・サッカー・ゲーム等

【指導会場】旭川大谷さくら幼稚園・旭川白百合幼稚園・旭川明照幼稚園・旭川ひまわり幼稚園・名寄光名幼稚園・カトリック士別幼稚園・士別瑞祥幼稚園・富良野ルンビニ幼稚園・旭川道新文化センター西武教室・旭川リミネ東光・旭川スポーツクラブジョイフィット・旭川永山パワースパーク・深川ア・エル内スタジオ他全道各地のフジスポーツクラブ体育教室

【体育の家庭教師】ご家庭にて体育授業を個別指導しております。

親子二代が通う体育教室
フジスポーツクラブ
〈チャイルド・スポーツ〉
お問い合わせ 旭川市神居3条21丁目60番地の8 ☎ 0166-61-0398

ご宴会料理

ご予約にて承ります

● 福鶴プラン・・・1,500円～2,500円

＋ 福鶴プランにお鍋をおつけすることもできます。(1,000円～)

福鶴プラン+90分飲み放題(生ビール含む) 1,500円

日本料理 ● 福鶴亭 本店 旭川市1条通2丁目 TEL. (0166) 23-1331
e-mail ▶ info@fukutsuru.co.jp URL ▶ http://www.fukutsuru.co.jp
《営業時間》11:00～15:00(ラストオーダー14:30) 17:00～21:00(ラストオーダー20:30)

誰かのために、自分のために、そんな想いをつなぎ、広げていきます。

旭川市ボランティアセンター情報

「ちょボラ」の養成を
行っています！

より身近な地域での助け合い・支え合い活動の重要性を伝え、ちょっとした空き時間を誰かのために使ってみるきっかけづくりとして、ボランティア養成研修「ちょボラのススメ」空いた時間の活用術」を、地域の住民センターなどで行っています。

「ちょボラ」とは、「ちょこつと」「ちよつと」したボランティアという造語で、誰でも気軽にできる活動もあることを伝えるために「ちょボラ」という親しみやすい言葉を使いました。

参加者からは、「身構えず、無理をせず、できる時間、できる範囲で良いことを学ぶことができました」「ちょっとした気軽さで参加できる活動を知ることができました」「誰にでも必要な役割があり、そのことが生きがいになるのではないかと感じました」などの感想をいただきました。

今後は、参加していただいた皆さんの「何かできること」を、地域での助け合い・支え合いの活動につなげていきます。

これからも、「ちょボラのススメ」を行いますので、ぜひお気軽にご参加ください。



ボランティア養成研修 風景

「愛情銀行」にご協力
をお願いします！

◎愛情銀行とは？

市民の皆様からご寄附いただいた日用品や介護用品などを、それを必要としている福祉施設や団体などに払出し、思いやりや愛情の橋渡しをする仕組みのことです。払出先を希望する福祉施設や団体を指定することもできます。

【寄附が求められている日用品】

●使用済み切手、使用済みフリップカード、ベルマーク、書き損じハガキ



ノルディックスキージャンプで活躍している高梨沙羅さんから、旭川ろう学校、旭川盲学校、近郊の特別支援学校3校の合計5校に、愛情銀行を通じてクリスマスケーキの寄贈がありました。
(写真は高梨沙羅さんの母・千景さんと旭川盲学校の生徒たち)



「ボランティア振興基金」にご協力をお願いします！

◎ボランティア振興基金とは？

市民の皆様からご寄附（預託）いただいたお金を、ボランティア養成研修や福祉教育の推進などに活用させていただきます。

ご支援とご協力をお願いします。



「空いた時間を誰かのために使ってみよう」「身近な地域で活動したい」といったボランティアや地域活動のことなど、お気軽にご相談ください。

旭川市
ボランティアセンター
☎21-5550

平成27年度ボランティア保険の加入受付中です！

ボランティア活動中の、もしもの事故やケガに対して、その損害や賠償を補償してくれる「ボランティア保険」の更新時期です。

平成27年度分の加入をしない方は、活動前に手続きをお願いします。
※平成26年度分の補償期間は3月31日で終了です。

■ボランティア活動保険

【保険料】～1名あたり・年間～

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	300円	450円
天災タイプ (基本+地震・噴火・津波)	430円	650円

※被災地での活動には「天災タイプ」をお勧めしています。

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償する保険です。

【補償内容】

		補償金額	
		Aプラン	Bプラン
死亡保険		1,200万円	1,800万円
後遺障害保険(限度額)		1,200万円	1,800万円
入院保険日額		6,500円	10,000円
手術保険	入院手術	65,000円	100,000円
	外来手術	32,500円	50,000円
通院保険日額		4,000円	6,000円
賠償責任(限度額)		5億円	5億円

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事におけるケガや賠償責任を補償する保険です。

■ボランティア行事用保険

【保険料】～1名あたり～

Aプラン (宿泊なし)	A1	28円
	A2	126円
	A3	248円
Bプラン (宿泊あり)	1泊2日	239円
	2泊3日	293円
	3泊4日	298円
	4泊5日	352円
	5泊6日	357円
	6泊7日	362円

※Aプランの最低加入人数は20名です。また、A1～A3の違いについてはお問合せください。

【補償内容】

		補償金額
死亡保険		400万円
後遺障害保険(限度額)		400万円
入院保険日額		3,500円
手術保険	入院手術	35,000円
	外来手術	17,500円
通院保険日額		2,200円
賠償責任 (限度額)	対人	2億円
	対物	1,000万円

〈お問合せ〉旭川市ボランティアセンター ☎21-5550 / FAX23-0746

E-mail: volunteer@north.hokkai.net

福祉の仕事を探すなら！

福祉の職場で働く…
介護職、ホームヘルパー、看護職、相談・支援・指導員、
介護支援専門員、保育士などのお仕事を紹介しています。

●お問合せ・求人登録・求職登録は…
旭川市福祉人材バンク(無料職業紹介所)
☎23-0138 <http://www.fukushi-work.jp>



総合印刷(企画・印刷・デザイン・WEB・撮影・翻訳 等)

PRICOM 旭川

NEW VALUE IS BUILT 新たな価値観を築く—

本社 旭川市永山1条1丁目1-30 ☎079-8421 留萌営業所 留萌市栄町2丁目6-2 北嶋製粉ビル2F ☎077-0007

TEL.0166-21-8733 FAX.0166-27-8388 TEL.0164-42-8735 FAX.0164-56-4635

<http://ns.pricom-a.jp/>

道北エリアで最大規模!!
客席数100席!!

併設

道北エリア唯一の

McCafe
by Barista

マクドナルド39号旭川永山店
国道39号線沿い・ベガスベガス様となり
旭川市永山2条8丁目1-27 ☎0166-48-3228

高齢者向け宅配弁当サービス

栄養士が栄養バランスと食べやすさに配慮してメニューを考えています。

昼・夕お届けします! 日・祝もお届けします!

おかずのみ 500円 (税込 540円) ごはんセット 550円 (税込 594円) 安否確認も実施しております。

幼稚園・介護施設(朝・昼・夕)の給食も低価格にて承ります。 宅配地域 旭川全域

ワン・ツ・スリー

宅配クック1・2・3旭川店 ☎(0166) 25-3210 FAX 0166-25-3201 (前日までの注文) 9:00~17:30

〒070-0030 旭川市宮下通16丁目3-1

ATM 安心の ¥0

時間外利用手数料がいつでも終日無料

●対象ATM 旭川しんきん本支店、店外設置店(共同設置稼働店は除く)
●対象取引 すべての取引 ※他金融機関カードは対象となりません

この街で 旭川しんきん 旭川市4条通8丁目 TEL0166-26-1161

「共同募金運動」にご協力ありがとうございました!

「赤い羽根共同募金」にご協力いただいた町内会・企業・市民の皆様、「歳末たすけあい募金」にご協力いただいた学校・団体・職場で働く皆様等、たくさんの方々からあたたかい「おもいやり」や「やさしさ」をいただきありがとうございました。皆様からの募金は福祉団体等の活動や福祉施設の機器、車両購入等に助成されます。この運動に深いご理解とご協力をいただき心から厚くお礼申し上げます。



共同募金+歳末たすけあい募金の総額

31,364,853円

種 別	平成26年度実績額
戸 別 募 金	12,822,188
大 口 募 金	7,725,151
街 頭 募 金	1,118,554
その他の募金	6,948,862
共同募金合計	28,614,755
歳末たすけあい募金	2,750,098
合 計	31,364,853

共同募金に関するご意見

共同募金の助成先が沢山あって幅広く役立てられていることを知りました。街頭募金より、店頭などの募金箱の方が参加しやすく、羽根をつけられたくないという声も聞けるので、募金箱の設置が増えれば良いのと思いました。
(神居中央地区 48歳・女性)

旭川市共同募金委員会から

共同募金委員会では、今年度も市内各地域の店舗、書店、銀行、企業等で募金箱設置のご協力をいただきました。来年度も今年度以上に募金箱設置を推進してまいります。なお、引き続き年間を通して、設置していただける店舗等がございましたら下記までご連絡ください。



コラボグッズのご協力のお礼!

今年度は、「あさっぴー」「初音ミク」とのコラボに加え、(株)サンリオの「マイメロディ」とのコラボが実現しました。たくさんの方々に寄附金付きコラボグッズのご購入にご協力をいただき感謝いたします。

製作費を除いた金額が募金となる、誰でも気軽に「赤い羽根共同募金」に参加いただける仕組みです。

来年度もまた、コラボグッズを製作予定ですので、ご協力をよろしく願いいたします。



全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました ～社会福祉協議会優良活動表彰関係～

この度、旭川市社会福祉協議会の住民主体による地域福祉活動推進の功績が認められ、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

今年度は、全国1,741の市・町・村社協の中から40市町村社協が受賞する運びとなり、去る、11月21日に東京で行われた表彰式では、特に活動が顕著であるとして、本会の盛永孝之会長が、受賞した40社協を代表して表彰状を受け取りました。

今回の受賞は市内53地区社協において、住民自らが生活課題の把握や相談対応にあたるとともに、解決困難な課題は、本会が調整役となって、専門機関等へつないでいく仕組みづくり、また、在宅生活を総合的に支える地域づくりの拠点として、神楽岡に整備した「地域福祉活動拠点すずかけ」の介護サービスや先駆的に展開した福祉コミュニティづくりなどの取り組みが高い評価を受け受賞となりました。

地域の皆様の永年にわたる熱い情熱と尊い実践が今回の受賞に至ったものと、心から感謝申し上げます。

今後も、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことの出来る地域づくりを皆様方と協働し進めてまいりますので、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。



おがれ 地域の宝もの 学生と地域住民の つながりがつくる 地域の化学反応

「おがる」とは?

方言で「大きくなる」「成長する」という意味です。

このページでは、地域福祉活動で活躍する皆さんを紹介しします。

～広がる旭川龍谷高等学校 「インターアクトクラブ」と地域住民の輪～

旭川龍谷高等学校「インターアクトクラブ」の皆さんは、「つながり」を意識したボランティア活動を実践しています。

インターアクトクラブが地域とつながる!!



ゴミ拾い・ポイ捨て禁止運動

これまで、インターアクトクラブでは、地域に根ざした「ゴミ拾い・ポイ捨て禁止運動」や「赤い羽根街頭募金ボランティア」、障がいのある方達が躍動するスポーツ大会の支援等、様々なボランティア活動をしてきました。

その中でも注目したいのは、地域住民とインターアクトクラブが協働したいという想いから誕生した、豊岡地区社会福祉協議会で行われている「安心見守り事業」の対象者宅を訪問する、「安心見守りボランティア活動」があります。活動に参加するインターアクトクラブの皆さんは「人それぞれに関わり方が違う、その人その人に合わせた交流、接し方が必要。」と感じたそうです。

協働する豊岡地区社会福祉協議会の高嶋守会長と玉尾亮一事務局長は、「将来を担う若い人達が積極的に『安心見守り事業』に参加してくれて嬉しい。10数年に渡り、夏休み・冬休み中でも訪問してくれていて本当に感謝している。」「訪問先の皆さんは曾孫に会えるような感覚で楽しみにしている」と語ってくれました。



高嶋守会長・玉尾亮一事務局長

また、旭川育児院との「クリスマス交流会」への参加ボランティアでは、龍谷高等学校「吹奏楽部」と共に、演奏のプレゼントやサンタクロスからのプレゼント、絵本の読み聞かせ等を行ってきました。

昨年は子供達と一緒に関わりながらできることはないか考え、段ボールを切り貼りし、手作りクリスマスツリーを完成させることができました。



旭川育児院でのクリスマス交流会参加風景

おがるインターアクトクラブ!!

インターアクトクラブの皆さんは、全道の高等学校で展開されるボランティア活動について知ることができる、「ボランティア研究大会」に参加しています。

参加したインターアクトクラブ会長の若井あすかさんは、クラブ以外の生徒の協力も得ながら実施可能な、ペットボトルキャップを集めて世界の子供達にポリオ(※)注 防止ワクチンを送る「エコキャッププロジェクト」に取り組みたいと考えているそうです。

また部員の皆さんは、「地域と関わるボランティアをすることによって、信頼関係を築き、クラブに相談してもらえる輪が広がると嬉しい。」「ボランティア活動を通し、今まで経験したことがない体験を重ねていきたい。」と目を輝かせながら語ってくれました。

インターアクトクラブ顧問の山田智善先生は、「積極的に取り組む部員が多く、ボランティア活動の依頼があった時にすぐに応えてくれる自主性が備わってきていることが心強い。」と語っていました。



ボランティア活動風景

※注「ポリオ」とは、ウイルスが口から脊髄などに入り、発熱や下痢などの症状が出た後、手足にまひが出る感染症です。

地域の学校には誰かの力になりたい、住民との結びつきを求める若い力が眠っているのではないのでしょうか。皆さんの地域でも協働する活動が増えていくことを期待します。

きみも「できること」、「できるところ」からはじめてみよう!

みなさんの取組・活動を紹介させていただきます!

幅広く情報を大募集しています!!

【お問合せ】旭川市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎23-0742

旭川龍谷高等学校「インターアクトクラブ」からのお知らせ!!

旭川龍谷高等学校では毎年7月に『龍谷祭』が開催されています。祭りの中でチャリティーバザーや募金活動を行い、東日本大震災の被災者に日本赤十字社を通して義援金を送っています。ぜひご協力と龍谷祭に遊びに来てください。

